

海外生活 エッセー

北京事務所

生活に必要不可欠 ～中国のデリバリーサービス～

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 福田 慧美 (滋賀県派遣)

日本でも近年フードデリバリーサービスが増えてきましたが、中国のデリバリーサービスは多岐多彩で非常に利便性が良く、安価で生活に欠かせないものとなっています。今回は中国の便利なデリバリーサービスについて紹介します。

➔ デリバリーサービスの主な種類

デリバリーサービスは、フードデリバリー、スーパーの商品の配送サービス、個人間での短時間配送サービスの3種類に大別されます。

まず、フードデリバリーは「饿了么 (ウーラマ)」と「美团 (メイトゥワン)」の大手2社が主に使用されています。アプリ内には数え切れないほどの飲食店が登録されており、食べたいものを注文すると最短20分で届けてくれます。配送料は0元～10元(約190円)程度なので手軽に利用することができます。

また、アプリ内には食事だけでなく、コンビニやスーパーマーケットも数多く登録されており、生鮮食品やお菓子、冷凍食品、日用品なども配送してもらえます。

3つ目の短時間配送サービスは「闪送 (シャンドン)」と呼ばれ、個人間で物の受け渡しをする際に利用します。例えば、AさんがBさんにある物を渡すとき

に専門の配達員に依頼して、最短30分程度で配達してもらうことができます。このサービスの配達料は5km以内16元(約288円)から距離に応じて加算されていきますが、とても安価で、子どもの忘れ物を学校に届けたり、サプライズプレゼントを贈ったりなど、生活の様々な場面で利用されています。

手軽に利用できるフードデリバリーを私はほぼ毎日利用しているため、日本へ戻ってからこの便利さを享受できなくなることに不安を覚えつつあるほどです。

➔ 飲食店の救世主

北京市では4月末から新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、全ての飲食店において店内での飲食が禁止されました。このような状況の中、各飲食店はデリバリー頼みでなんとか営業し、配達非対応だった店舗も続々と配達サービスへの参入を始めました。

店内飲食禁止の状況下で閉店せずになんかならでも売り上げを上げることができたのは、この便利なフードデリバリーサービスのおかげであり、飲食店にとってはまさに命綱となったようです。



饿了么の配達員



フードデリバリーの配達員のみが出入りする飲食店街